承認組合(※)による農林漁業法人等への出資事例

【承認組合の概要】

			,,	•	
組	合	名	称	おおいた鳥	農業法人育成ファンド投資事業有限責任組合
運	営	主	体	大分ベンラ	チャーキャピタル株式会社
組	<u>{</u>	1	員	• 株式会社	土大分銀行
				・大分べこ	ノチャーキャピタル
				・株式会社	土日本政策金融公庫
組	合	規	模	3億円	
投	資	対	象	大分県内る	を中心にその周辺地域の農業法人
0	童	Ĺ	囲		
上	記	組	合	担当部	大分ベンチャーキャピタル株式会社
に	関	す	る	署	人分・シティーイヤビグル株式云社
間(ハ合	わせ	: 先	連絡	TEL: 097-543-1919
				先	1 E L . 031-045-1919

^{※「}承認組合」とは、農林漁業法人等投資育成事業に関する計画について農林水産大臣の承認を受け、農林漁業法人等の株式等の取得及び投資先農林漁業法人等に対して経営又は 技術の指導を行う投資事業有限責任組合のことです。

【出資概要】

	灵 外 女			
事	出資	先	名	アクア農園株式会社
例 1	所	在	地	大分県豊後大野市
1	事 業	内	容	水耕栽培によるリーフレタスの生産
	出	資	額	20 百万円
	出資	の経	緯	同社は、季節や天候に左右されず安定した品質で育
	(目	的)	てられた水耕栽培によるリーフレタスの生産を行って
				いる。
				今回の出資は、圃場を拡大し新たな施設の整備を行
				い、生産性の向上、利益率の改善を図ることにより、
				地域の雇用、農業に好影響を与えるものであることか
				ら、出資を決定した。
	出資金	ミの使	き途	設備資金
	出資	形	態	新株予約権付社債引受
	契 約	時	期	平成 28 (2016) 年 3 月

事	出	資	先	名	株式会社交栄農事営農組合
例 2	所	存	Ē	地	大分県豊後大野市
2	事	業	内	容	生姜、苺の生産
	出	Í	¥	額	30 百万円
	出	資の	つ 経	緯	同社は、生姜・苺の生産を行っており、最新の土壌
	(目	的)	診断システム、生産方法等を取り入れ、生産技術が確
					立したことから、生産規模の拡大を決定。
					また、周辺農家に対して、技術指導を行うなど、当
					該地域の産地化、農業振興にも寄与している。
					今回の出資は、地域農業に影響を与える先であるとと
					もに、生産規模拡大により、業務効率化が図られるこ
					とから、出資を決定した。
	出	資金	の使	途	運転資金
	出	資	形	態	普通株式及び無議決権株式引受
	契	約	時	期	平成 28(2016)年 5 月

事例3 (投資終了のため削除)

事	出 資 先 名	株式会社未来農林
例 4	所 在 地	大分県宇佐市
4	事業内容	カボスの生産
	出 資 額	10 百万円
	出資の経緯	同社は、発電事業から新規に農業参入した会社。
	(目的)	地域雇用の確保、地域活性化の実現のために、大分
		県の特産品でありながら、高齢化により生産農家の減
		少、生産量の減少が懸念されるカボスの生産を決断、
		農業参入を行っている。
		同社の取組は、地域経済の活性化、大分県の農業発
		展に寄与することから、出資を決定した。
	出資金の使途	設備資金
	出 資 形 態	新株予約権付社債引受
	契約時期	平成 30(2018)年 1 月

事	出	資	先	名	株式会社くしまアオイファーム
例 5	所	7	Ē	地	宮崎県串間市
	事	業	内	容	さつまいもの生産、加工、販売
	出	Í	¥	額	30 百万円
	出	資	つ 経	緯	同社は、自社及び契約農家が生産したサツマイモを
	(目	的)	東アジアなど海外に輸出している農業法人。
					今後も輸出事業を拡大すると共に、病気に強いサツ
					マイモや付加価値の高いサツマイモの開発を宮崎大学
					と共同で行う予定。
					同社の取組は、農業の成長産業化に寄与すると考
					え、出資を決定した。
	出	資金	の使	途	運転資金及び設備資金
	出	資	形	態	無議決権株式引受
	契	約	時	期	平成 30(2018)年 7 月

事	出資	七 名	株式会社未来農林(事例4と同一先)
例 6	所 在	地	大分県宇佐市
	事業	勺 容	カボスの生産
	出資	額	20 百万円(追加投資・総投資額 30 百万円)
	出資の	経 緯	同社は、太陽光発電やバイオガス発電などの発電事
	(目前	内)	業から新規農業参入した農業法人。
			地域雇用の確保、地域活性化の実現のために、大分
			県の特産品でありながら、高齢化により生産農家の減
			少、生産量の減少が懸念されるカボスの生産を決断
			し、農業参入を行っている。
			事業は順調に推移しており、必要な人材の確保も出
			来ていることから、当初計画通り追加投資を行った。
	出資金の	使途	運転資金及び設備資金
	出資	肜 態	新株予約権付社債引受
	契 約 昭	寺 期	平成 30(2018)年 12 月

事	出資先	名	株式会社南阿蘇農園
例 7	所 在	地	熊本県阿蘇郡南阿蘇村
'	事 業 内	容	ハーブの生産、加工、販売
	出資	額	30 百万円
	出資の経	緯	同社は、南阿蘇村でハーブの生産・加工を行う農業
	(目的)	法人。製品化されたハーブティーは、関連会社の株式
			会社クマモト敬和が運営する店舗「南阿蘇 Tea
			House」で販売している。
			今回の出資金を活用して、加工部門の拡充を進め
			て、更に規模拡大を目指す。
			同社の取組は、農業の成長産業化に寄与すると考
			え、出資を決定した。
	出資金の使	途	運転資金及び設備資金
	出資形	態	無議決権株式引受及び新株予約権付社債引受
	契 約 時	期	平成 31 (2019) 年 1 月

事	出資	先	名	トゥルーバファーム大分株式会社
例 8	所	在	地	大分県豊後高田市
0	事業	内	容	放牧経営による肉用牛の繁殖事業
	出	資	額	10 百万円
	出資	の経	緯	同社は、肉用牛の担保評価、畜産事業者の経営改善
	(的)	や資金調達サポートを行うトゥルーバグループホール
				ディングス株式会社が、新規参入して設立した農業法
				人。
				豊後高田市の一部で実践されている放牧経営による
				肉用牛の繁殖事業を行うもので、事業にかかる費用を
				抑えられる他、健康的な肉用牛の成育にも期待でき
				る。
				また耕作放棄地での放牧は、土地資源の有効活用や
				鳥獣被害の軽減による農地の保全にも寄与するため、
				地域にとっても有用な取組。
				同社の取組は、地域営農に好影響を与えるものであ
				り、出資を決定した。
	出資金	金の値	き途	運転資金及び設備資金
	出資	形	態	無議決権株式引受